

大学院特別講義

(医 歯 学 先 端 研 究 特 論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

講 師： 群馬大学大学院医学系研究科 応用生理学分野 教授

鯉淵 典之 先生

演 題： 小脳の発達における甲状腺ホルモンの機能

日 時： 平成 2 3 年 6 月 2 3 日 (木)

1 7 時 3 0 分～ 1 9 時 3 0 分

場 所： M&D タワー 1 3 階 大学院講義室 2

内 容：

甲状腺ホルモン(thyroid hormone, TH)は脳発達に不可欠で、周産期甲状腺機能低下症はヒトではクレチン症と呼ばれ、不可逆的脳発達障害を生じる。神経細胞がTHに感受性を有する臨界期は限られており、げっ歯類小脳では出生後約2週間である。THは幹細胞の分化よりも、分化後の樹状突起発達やシナプス形成を調節する。TH作用の多くは核内受容体(TH receptor, TR)を介して生じている。TRはTH依存性転写因子で、臨界期特異的に標的遺伝子の転写を調節するが、臨界期形成機構は明らかではない。最近、臨界期は他の転写因子との相互作用により生じている可能性が示されており、研究結果の一部を紹介する。一方、THには核内受容体を介さない作用があることも知られている。特に、アストロサイトにおけるアクチン重合や脱ヨウ化酵素(T4をT3へ変換)の活性化に関与していることが明らかになった。これら遺伝子発現を介さないTHの作用についても最近の研究結果を紹介する。

担当：細胞薬理学分野

連絡先：システム神経生理学分野 杉原 泉

内線 5152/5153